

コミュニティ再生と青少年の育成を目指す根浜海岸 海浜植物等植栽と環境体験交流学習事業

- 1 根浜ハマナスプロジェクト実行委員会
- 2 岩崎 昭子
- 3 釜石市鵜住居町第 21 地割 17-3 根浜シーサイド内
- 4 2025 年 11 月 24 日（月・祝）
- 5 合計 28 名
（大人 11 名、子 11 名、スタッフ 6 名）
- 6 タイムテーブル
13:00 開会、主旨説明
13:10 ハマナス苗づくり作業（レストハウス）
14:00 焚火を囲んで交流会
15:30 終了

～活動報告～

【地域の自然環境の魅力の活用】

東日本大震災の大津波から根浜地域に生き残った日本の在来植物「ハマナス」等が、地域にとってどんな価値がある植物かを知り、苗を作り育てることで、三陸復興国立公園と近隣の地域資源の魅力に親子でふれました。地域の自然体験の中心地となる根浜シーサイドで作業を行うことで、焚火などアウトドアを取り入れながら自然体験をし、お楽しみ交流の時間を設けるながら地域資源を活用して実施しています。

【次世代を担うリーダー等との活動関与】

未就学児から 70 代が集いました。地域のリーダー的存在の中間年代がやり方を教えたり見守りながら作業を行いました。

【参加した方（子供たち）からの感想・意見】



「苗づくりは楽しかった！流された植物がふえてお花がたくさん咲いたらうれしいな」「ハマナスはジャムやお茶ができると聞いたので、いつか食べてみたいです」「津波で流されてしまった植物を増やして、きれいな海辺の環境が続くように、よいことをしていきたいと思いました」「土にさわるのがたのしくてきもちよかった」「ピンク色のお花が咲くのがみてみたいので、来年がとても楽しみです！」

【環境保全の意識が高まったと感じたこと】

親御さんからは「ハマナスの再生が地域の自然や防災にもつながっていることを知り、環境保全は地域を守り育てることでもあると感じた」「親子で参加することで、地域の自然に対する愛着と環境を守っていききたい気持ちが高まりました」という声も聞くことができました。こうした地道な活動を通じて、植物や自然にふれながら、環境保全への意識やコミュニティ再生への意識も醸成されていると感じています。

